

# オオカミの真意は

他の鳥獣対策を優先

**質**

オオカミを通じて、自然生態を研究・学習することは、意義のあること。

しかし、いざ導入となると、将来への不安から危惧する声が多い。真意は。

**答** 市長

オオカミの再導入は、市民の同意、県を含めた近隣自治体の合意、国の関係機関の合意がなければ実現することができません。

現在、行っている被害防止策以外に、シカやイノシシの個体数を減らし、鳥獣被害の防止や生態系の回復・維持ができる良い施策があれば、それを優先させたい。

**質**

鳥獣被害対策は、国土保全・森林整備など自然保護、環境保全の面から、本来は国の政策とすべき課題。国への働きかけは。

**答** 市長

国は自治体に任せるとはなく、国の責務との認識に立ち、新たな対策の開発・普及や予算措置を図り、国の責任において取り組むべき問題と考えています。

県内17自治体にて、昨年12月に直接、農林水産省へ要望したところ。

今後も引き続き、国へ鳥獣被害対策についての要望を行ってまいります。



あか みね けん じ二  
**赤 嶺 謙 二**



オオカミの復活を考える勉強会（東京）

**質**

水量・水質ともに不便を感じている地区（松谷、小津留の一部など）に対して、スピード感のある手だて（例えば、飲料水の運搬など）が必要では。

**答** 市長

その緊急性において、それぞれの状況に合わせて対応させていただきたいと思います。

## 生活用水の確保を

～未普及地域の解消に努力～

## 地域コミュニティを守れ

～支援策を検討～



いとうのりよし  
伊藤 憲 義

**質**

長湯憩いの家の存続に関する請願をどう考えるのか。地域の自治委員、老人会は公設を望んでいる。PFI方式（民間資金活用による社会資本整備）の検討はできないか。

**答** 市長

社会福祉協議会から指定管理業務の辞退願いが提出され、今後の施設運営は市の負担がないようにすることを前提に、公募の方針といたしました。

公募条件は、市民が利用できる地域交流施設を設けること、土地は有償、温泉権は無償

にて貸与、建物は無償で譲渡し、改築・新築は自由といたしました。PFI方式も検討に値します。今後、応募がない場合、詳細に検討したいと思えます。



豊後大野市地域公共交通活性化協議会

**質**

豊後大野市地域公共交通総合連携計画での課題を踏まえた方策をお尋ねします。

**答** 市長

現在の状況は清川、緒方、朝地、大野の各町にコミュニティバスを運行しており、三重千歳、犬飼の3町は運行していません。

地域ごとに異なる交通体系の均衡を図るため、格差の是正を行い、4町で運行体系を見直し、3町では新たに運行を開始します。

コミュニティバス路線における基幹路線としましては、緒方町の長谷川線、上緒方線、朝地町と大野町から市民病院を結ぶ線とし、その他の路線を枝線といたします。

また、新たに三重町と清川町の一部で、デマンドタクシーの運行を計画しており、開始時期は本年10月からを予定しています。